

地 図

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東 書◆	地図 303	A4 102	令和5年
46	帝国書院	帝 国◆	地図 304	A4 132	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

地図

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者
2冊	東書、帝国

2 学習指導要領における教科・学年の目標等

【社会科の目標】

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解するとともに、様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。
- (3) 社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。

【学年の目標】

〔第3学年〕

社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 身近な地域や市区町村の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動や地域の産業と消費生活の様子、地域の様子の移り変わりについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。
- (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

〔第4学年〕

社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 自分たちの都道府県の地理的環境の特色、地域の人々の健康と生活環境を支える働きや自然災害から地域の安全を守るための諸活動、地域の伝統と文化や地域の発展に尽くした先人の働きなどについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。
- (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

〔第5学年〕

社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 我が国の国土の地理的環境の特色や産業の現状、社会の情報化と産業の関わりについて、国民生活との関連を踏まえて理解するとともに、地図帳や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

- (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の国土に対する愛情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚を養う。

〔第6学年〕

社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを旨とする。

- (1) 我が国の政治の考え方と仕組みや働き、国家及び社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産、我が国と関係の深い国の生活やグローバル化する国際社会における我が国の役割について理解するとともに、地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の歴史や伝統を大切に国を愛する心情、我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。

【参考：小学校学習指導要領解説社会編「第4章 指導計画の作成と内容の取扱い 2 内容の取扱いについての配慮事項」から（抜粋）】

- (2) 学校図書館や公共図書館、コンピュータなどを活用して、情報の収集やまとめなどを行うようにすること。また、全ての学年において、地図帳を活用すること。

< 略 >

また、第3学年から給与される地図帳は、地図を効果的に活用することにより、位置や空間的な広がりに着目して社会的事象を捉える見方・考え方を養うことができる教材である。地図帳については、日常の指導の中で、折に触れて、地図の見方や地図帳の索引の引き方、統計資料の活用の仕方などを指導し、地図帳を自由自在に活用できる知識や技能を身に付けるようにすることが大切である。また、地図帳を日常的に活用し、地図帳への親しみを持ち、問題解決のための教材として効果的に活用する技能や意欲を育てるようにする。

地図帳は、第3学年から第6学年までの各学年で使用されるものであるが、特に第3学年の使い始めにおいては、地図帳の内容構成を理解できるようにする。

また、地図帳は、社会科の学習だけでなく、他の教科等の学習や家庭などにおいても活用することが大切であることを指導するようにする。

3 教科書の調査研究

(1) 内容

ア 調査研究の総括表（調査結果は「別紙1」）

調査研究事項（調査研究の対象）	対象の根拠（目標等）	数値データの単位
a 地図の基礎知識	各学年の目標(1)	個、箇所
b 地図等の種類 I	各学年の目標(1)	個
c 地図等の種類 II	各学年の目標(1)	個
d 地図の活用(日本と世界)	各学年の目標(1)	箇所
e 目的別資料図	各学年の目標(1)	箇所
f 写真・統計資料等	各学年の目標(1)	箇所
g 発展的な内容を取り上げている箇所	小学校学習指導要領 第1章総則	箇所

イ 調査項目の具体的な内容

- ① 教科書の特徴をより明確にするため、具体的に調査研究する事項

調査研究事項のeとfの関連で、次の事項について具体的に調査する。（調査結果は「別紙2-1」）

e 目的別資料図の内容

f 写真・統計資料等の内容

<その他>

- * 1 我が国の位置と領土の扱い（調査結果は「別紙 2-2」）
- * 2 北朝鮮による拉致問題の扱い（調査結果は「別紙 2-3」）
- * 3 防災や自然災害の扱い（調査結果は「別紙 2-3」）
- * 4 オリンピック・パラリンピックの扱い（調査結果は「別紙 2-3」）
- * 5 固定的な性別役割分担意識に関する記述等（調査結果は「別紙 2-3」）

② 調査対象事項を設定した理由等

- ・ 社会科の目標では、「様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。」ことが示されている。具体的には、「社会的事象について調べまとめる技能」として、情報を収集する技能、情報を読み取る技能、情報をまとめる技能などが示されており、これらの技能は、資料の特性等に応じた指導を繰り返し行うことで、児童が身に付けるようにしていくことが大切である。地図帳をその特性等に応じて活用するに当たっては、地図だけでなく、目的別資料図や写真・統計資料等の資料を活用することも重要である。そのため、具体的な内容について調査する。（e、f）

<その他>

- ・ 我が国の位置と領土の扱いについては、小学校学習指導要領に基づき、正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。（*1）
- ・ 東京都教育委員会は、教育目標の基本方針 1 として「人権尊重の精神と社会貢献の精神の育成」を掲げ人権教育を推進してきた観点から、児童が人権課題を正しく理解できるようにするため、北朝鮮による拉致問題の扱いについて調査する。（*2）
- ・ 東京都では、自然災害における被害を最小化し、首都機能の迅速な復旧を図る総合的なリスクマネジメント方策の確立が喫緊の課題であり、防災教育の普及等により地域の防災力の向上が重要であることから、防災や自然災害における関係機関の役割等について考察させることを通じて、これらの問題を正しく理解できるようにするため、防災や、自然災害時における関係機関の役割等の扱いについて調査する。（*3）
- ・ 東京都教育委員会教育目標の基本方針 2・3 に基づき、文化・スポーツに親しみ、国際社会に貢献できる日本人を育成するという観点から、オリンピック・パラリンピックの扱いについて調査する。（*4）
- ・ 東京都教育委員会の基本方針 1 及び東京都の男女平等参画推進の施策を踏まえ、固定的な性別役割分担意識の解消や、「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）」に気付いて言動等を見直していくなど、男女の平等を重んずる態度を養うことができるよう、その扱いについて調査する。（*5）

③ 調査の方法

e 取り上げている目的別資料図について、内容を整理する。

f 取り上げている写真・統計資料等について、内容を整理する。

<その他>

- * 1 我が国の位置と領土について取り上げている記述の概要を調査する。
- * 2 北朝鮮による拉致問題について取り上げている記述の概要を調査する。
- * 3 防災や自然災害について取り上げている記述の概要を調査する。
- * 4 オリンピック・パラリンピックについて取り上げている記述の概要を調査する。
- * 5 固定的な性別役割分担意識に関する記述等を調査する。

(2) 構成上の工夫（調査結果は「別紙 3」）

以下の観点について、箇条書きで記載する。

ア 地図帳の活用について

イ ユニバーサルデザインの視点

ウ デジタルコンテンツの扱い

「別紙1」 【(1) 内容ア 調査研究の総括表】 (小学校 地図)

項目	a 地図の基礎知識		b 地図等の種類 I			c 地図等の種類 II				d 地図の活用 (日本と世界)			e 目的別資料図							f 統計資料等			g	
	地図記号の数	地球儀取扱箇所	平面図の数	絵地図の数	断面図の数	行政区分図等の数	土地利用図の数	用途別地図数	地形図の数	日本地図の数	世界地図の数	索引に掲載されている日本の地名数	索引に掲載されている世界の地名数	国土利用・自然・環境	人口・交通・貿易	農林水産業	鉱工業	防災	日本の歴史	その他(防災含む)	写真	表・グラフ	分布図	発展的な内容を取り上げている箇所
発行者	198	6	98	9	2	5	16	44	44	87	22	2191	472	13	14	4	5	1	11	6	74	17	12	0
東書	132	6	123	15	4	14	55	18	120	22	2158	398	15	3	4	3	10	14	3	64	27	15	0	
平均値	165.0	6.0	110.5	12.0	3.0	9.5	35.5	31.0	103.5	22.0	2174.5	435.0	14.0	8.5	4.0	4.0	5.5	12.5	4.5	69.0	22.0	13.5	0.0	

※ 表中の平均値は、項目ごとの各発行者の平均を小数第二位で四捨五入した値を示している。

【地図の数え方等】

- ※ 地図の総数は、東書が109、帝国が142である。
- ※ 位置を示すための小さな地図は、数に入れない。
- ※ aの地図記号については、「地図記号を使おう(東書P10)」及び「この地図帳の地図記号(東書P13)」、「いろいろな地図記号(帝国P14)」及び「記号に注目しよう(帝国P17・18)」に示されている記号の数を数えた。
- ※ cについては、1つの地図から土地利用図と地形図の両方を読み取ることができる地図がある。その場合は、土地利用図として数えた。
- ※ dの日本の地名数と世界の地名数については、索引に掲載されている数を数えた。
- ※ eについては、写真、表及びグラフは、数に入れない。

e 目的別資料図の内容							
発行者	国土利用・自然・環境	人口・交通・貿易	農林水産業	鉱工業	防災	日本の歴史	その他(自然災害含む)
東書	<ul style="list-style-type: none"> 地形の様子 日本の地形 高地のくらし 日本と世界のおもな山 日本と世界のおもな川 日本と世界のおもな湖 1月の気温 7月の降水量 7月の気温 冬の季節風 夏の季節風 	<ul style="list-style-type: none"> 東京の23区 日本のおもな高速度道路 日本のおもな鉄道 日本のおもな空港と港 鉄道の高速化 日本のおもな都市 日本の輸入 日本の輸入相手国・地域の変化 日本の輸入品の変化 日本のおもな国・地域からの輸入額 日本の輸出 日本のおもな国・地域への輸出額 日本の輸出相手国・地域の変化 日本の輸出品の変化 	<ul style="list-style-type: none"> 地域による農業生産のちがいがい 土地の利用とおもな農産物 おもな漁港と水産物 漁港の様子 	<ul style="list-style-type: none"> 自動車工場と関連工場 の分布 おもな工業地域の工業生産 日本の工業の分布 自動車工場の分布 製鉄所の分布 	<ul style="list-style-type: none"> 自然災害にそなえて 	<ul style="list-style-type: none"> 京都市中心部 斑鳩町付近 奈良市中心部 8世紀ごろの日本とアジア 13世紀後半～14世紀初め(元の時代の)のユーラシア 16世紀ごろ(大航海時代)の世界 19世紀後半の世界(黒船来航のころ) 明治初期に確立した日本の領土 20世紀前半の世界(昭和の初めごろ) 第二次世界大戦後の日本の領域 日本のおもな歴史的景観と祭り 	<ul style="list-style-type: none"> ・アフリカに生息するおもな動物たち ・日本の食文化 ・オリンピックとワールドカップ ・大きな被害をもたらした台風の進路 ・日本の自然災害 ・だれひとり取り残さない世界をめざして
帝国	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな地形 地形のようす 高地のくらし 日本のおもな山の高さ 日本のおもな川の長さ 日本のおもな湖の広さと深さ 世界のおもな山の高さ 世界のおもな川の長さ 世界のおもな湖の広さと深さ 1月の降水量 8月の気温 8月の降水量 A-B間(2図)の断面と冬の季節風 A-B間(4図)の断面と夏の季節風 	<ul style="list-style-type: none"> 日本のおもな輸入相手国・地域 日本のおもな輸出相手国・地域 世界の食料問題 	<ul style="list-style-type: none"> 気仙沼付近の漁業のようす 農業のようす 土地利用とおもな農産物の産地 各地の水産業 	<ul style="list-style-type: none"> 自動車産業のさかんな愛知県 工業の分布 日本の発電 	<ul style="list-style-type: none"> 洪水への備え～濃尾平野の輪中～ ・札幌市中心部 ・さまざまな自然災害 ・さまざまな防災への取り組み ・くり返される津波と先人たちが残した教訓 ・地下調節池の分布 ・地下調節池のしくみ ・兵庫県南部地震の被害と防災拠点 ・災害に備えた学校(神戸市立本庄小学校) ・防災マップづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・広島市のようす ・奈良市中心部 ・斑鳩町付近 ・明日香村付近 ・京都市中心部 ・江戸時代の結びつき ・街道を行きかう人々 ・江戸(江戸時代後期) ・江戸の町のようにと人々のくらし ・北海道のアイヌ語地名 ・鎌倉のようす ・日本の昔の境界とおもなできごと ・明治時代初め日本の領土 ・第二次世界大戦後の日本の領土 	<ul style="list-style-type: none"> ・おもな台風の進路 ・持続可能な社会をめざして ・各地の取り組み

発行者	写真	f 統計資料等の内容	表・グラフ	分布図
<p>北端 沢堤島 西端 与那国島 東端 南島島 南端 沖ノ島島 大阪国際空港 貨客船「おがさわら丸」 新幹線「はやぶさ」号 尖閣諸島 竹島 金閣 東大寺の大仏 新宿の高層ビル群と富士山 東京タワーと東京スカイツリー 地球儀をまわしてみよう 方角を調べよう きよりを調べよう 大ささ、形を調べよう 旧グリニッジ天文台 バンダ(中国) アメリカハイソン(アメリカ) コアラ(オーストラリア) コンドル(ペルー) フアンズ ムニエル オーストラリア ウィンナー・ジュニツェル スペイン バエリア イタリア ピザやパスタ ウクライナ ポルシチ ブルガリア ムサカ トルコ ドネル・ケバブ 中国 マーボー豆腐 フィジー ロボ メキシコ タコス オーストラリアの12月の様子 焼津港のかつおの水あげ 自動車組み立て工場 海沿いに広がる鉄線所 物流の中心である高瀬道路 人の活動を広げた新幹線 自動車の積み出し港 函館市元町末広町 平泉一仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群 歴史と伝統がつながる山形の「最上紅花」 日光の社寺 香取市佐原 トキと共生する佐渡の里山 合掌造り集落 亀山市関宿 姫路城</p>	<p>・厳島神社 ・西予市宇和町卯之町 ・長崎と天草地方の遺体キリシタン関連遺産 ・阿蘇の草原の維持と持続的農業 ・シンキスカン ・宮古くるみみぞうに ・どじょう鍋 ・ますすし ・ひつまぶし ・干枚づけ ・きなごぞうに ・あずきぞうに ・あんもちぞうに ・水たきぞうに ・ゴーヤチャンプルー ・火山の噴火 御嶽山 ・地震 阪神・淡路大震災 ・洪水 令和2年7月豪雨 ・土砂崩れ 平成26年8月豪雨 ・雪の被害 令和3年1月の大雪 ・津波 東日本大震災 ・津波がここまで来たという場所を示した自然災害 書伝承碑 ・冬の季節風 ・つゆ</p>	<p>・沖縄県の土地利用の割合 ・日本の国土の統計(令和4年理科年表ほか) ・日本の各地の気温と降水量(1991~2020年の平均値 令和4年理科年表) ・地域による農業生産のちがい(令和元年 生産農業所得統計) ・おもな工業地域の工業生産(2020年工業統計調査) ・日本の輸入相手国・地域の変化(財務省貿易統計) ・日本の輸入相手国・地域からの輸入額(2020年財務省貿易統計) ・日本のおもな国・地域への輸出額(2020年財務省貿易統計) ・日本の輸出相手国・地域の変化(財務省貿易統計) ・日本の輸出品の変化(財務省貿易統計) ・日本の都道府県の統計(総務省資料、生産農業所得統計、工業統計調査ほかによる) ・世界のおもな国の統計(外務省資料、財務省貿易統計、国際連合資料ほかによる) ・地球の総面積(理科年表 令和4年ほか) ・世界の州と主な海洋の広さ(理科年表 令和4年ほか)</p>	<p>・土地の利用とおもな農産物(新版日本国勢地図ほか) ・おもな港湾と水産物(令和元年 水産物流通調査) ・日本の工業の分布 ・自動車工場の分布 ・製鉄所の分布 ・日本のおもな高速道路 ・日本のおもな空港と港 ・日本のおもな都市 ・日本のおもな歴史的景観と祭り ・日本の食文化(農林水産省HP) ・日本の自然災害(理科年表 令和4年ほか)</p>	

発行者	写真	f 統計資料等の内容	分布図
<p>・真上から見たまちのようす(写真)</p> <p>・家が多いところ</p> <p>・店や公共施設が多いところ</p> <p>・工場が多いところ</p> <p>・田が広がるところ</p> <p>・畑が広がるところ</p> <p>・果樹園が広がるところ</p> <p>・森林など緑が多いところ</p> <p>・西端 与那国島(沖縄県)</p> <p>・南端 沖ノ島(東京都)</p> <p>・東端 南鳥島(東京都)</p> <p>・北端 択捉島(北海道)</p> <p>・竹島(島根県)</p> <p>・尖閣諸島(沖縄県)</p> <p>・奈良公園を訪れる外国人観光客</p> <p>・空から見た京都市中心部</p> <p>・現在の日本橋(2021年)</p> <p>・地球儀ってなに？</p> <p>・方位を調べる</p> <p>・きよりを調べる</p> <p>・面積、形を調べる</p> <p>・サンタさん、暑くない？(オーストラリア)</p> <p>・サイロンから身を守る(バングラデシュ)</p> <p>・会はお祈りの時間(サウジアラビア)</p> <p>・難民の女の子のための学校設立(レバノン)</p> <p>・マサイの伝統的な生活(タンザニア)</p> <p>・難民キャンプの支援(スーダン)</p> <p>・寒いけど、外で遊びたい！(フィンランド)</p> <p>・パラスボーツさんな国(ドイツ)</p> <p>・いろいろなじやがいを売っているよ！(ペルー)</p> <p>・大自然をすりながら楽しむ！(コスタリカ)</p> <p>・バスに乗って学校へ通うよ！(アメリカ合衆国)</p> <p>・林業を持續可能に！(カナダ)</p> <p>・地震でこわれた家々</p> <p>・津波による被害</p> <p>・火山灰や岩石が降り積もった御嶽山</p> <p>・台風による大雨で発生した水害</p> <p>・大雪で自動車が立ち往生する高速道路</p> <p>・みかんの収穫</p> <p>・かつおの水あげ</p> <p>・製油所と石油化学コンビナート</p> <p>・名古屋港での自動車の輸出</p> <p>・太陽光発電所</p> <p>・切通し</p> <p>・マダガスカル</p> <p>・カンボジア</p>	<p>・オランダ</p> <p>・日本</p> <p>・知床</p> <p>・白神山</p> <p>・小笠原諸島</p> <p>・屋久島</p> <p>・三内丸山遺跡</p> <p>・中尊寺金色堂</p> <p>・東照宮陽明門</p> <p>・富士山</p> <p>・白川郷</p> <p>・法隆寺</p> <p>・清水寺</p> <p>・姫路城</p> <p>・原爆ドーム</p> <p>・端島炭鉱</p> <p>・大浦天主堂</p>	<p>表・グラフ</p> <p>・沖縄島の総面積にしろめるアメリカ軍専用施設の割合(沖縄県資料)</p> <p>・江戸の土地利用と居住人口(江戸時代後期)</p> <p>・世界の陸地の面積(世界人口年鑑2020 ほか)</p> <p>・海洋の割合と面積(理科年表2022)</p> <p>・地形別に見た日本の人口(日本統計年鑑 平成28年ほか)</p> <p>・おもな都市の気温と降水量(気象庁資料)</p> <p>・最近のおもな気象災害(気象庁資料ほか)</p> <p>・地域による農業生産のちがひ(令和元年生産農業所得統計)</p> <p>・日本のおもな農産物と水産物の生産量の变化(令和元年食料需給表)</p> <p>・日本の工業の内訳(2020年工業統計調査)</p> <p>・工業の種類</p> <p>・工業生産の多い県(2020年工業統計調査)</p> <p>・おもな工業地域の工業生産(2020年工業統計調査、ほか)</p> <p>・日本の発電の移り変わり(2020年電気事業便覧、ほか)</p> <p>・日本の輸出品と輸出品の变化(財務省貿易統計)</p> <p>・日本の食料自給率(2018年)(令和元年食料需給表、ほか)</p> <p>・日本の食品ロス(2018年)(農林水産省、環境省資料)</p> <p>・日本を訪れる外国人と外国人の教(日本政府観光局(JNTO)資料)</p> <p>・日本を訪れる外国人の内訳(2019年)(日本政府観光局(JNTO)資料)</p> <p>・日本で暮らす外国人の出身地(2020年)(在留外国人統計)</p> <p>・日本のおもなできごと</p> <p>・都道府県別の統計(農林水産統計、2020年工業統計調査、全国都道府県市区町村別面積調、ほか)</p> <p>・おもな農産物・工業製品の生産(農林水産統計、2020年工業統計調査)</p> <p>・世界のおもな国々と日本の結びつき(財務省貿易統計、世界人口年鑑2020年ほか)</p> <p>・日本の農水産物・資源の輸入先(2019年財務省貿易統計)</p> <p>・持続可能な社会をめざして</p> <p>・世界の二酸化炭素排出の原因(2019年IEA資料)</p>	<p>・メジャーリーグの野球チーム(MLB資料)</p> <p>・日本で起きたおもな自然災害(気象庁資料、ほか)</p> <p>・世界の地震の分布(アメリカ地質調査所資料、ほか)</p> <p>・くり返される津波と先人たちが残した教訓(国土地理院資料、ほか)</p> <p>・地下湖前池の分布(東京都建設局資料、ほか)</p> <p>・兵庫県南部地震の被害と防災拠点(神戸市資料「幸せ、運ぼう」、ほか)</p> <p>・土地利用とおもな農産物の産地(農林水産省資料、ほか)</p> <p>・各地の水産業(平成30年 水産物流通調査、ほか)</p> <p>・工業の分布</p> <p>・日本の発電(2020年版 電気事業便覧、ほか)</p> <p>・日本のおもな輸入相手国・地域(財務省貿易統計)</p> <p>・日本のおもな輸出相手国・地域(財務省貿易統計)</p> <p>・ハンガーマップ(FAO資料)</p> <p>・日本の香の境界とおもなできごと</p> <p>・日本の世界遺産</p>

発行者	北方領土に関する掲載の概要	竹島に関する掲載の概要	尖閣諸島に関する掲載の概要	その他(領土の範囲等)
東書	<p>【写真】「北の端 ①択捉島」に『択捉島は北方領土最大の島で、面積は3167km²。北方領土は第二次世界大戦後にソビエト連邦が占拠し、現在ロシアが不法に占拠を続けており、日本は一貫して返還を求めています。』という説明がある。<P16></p> <p>【地図】「日本の47都道府県」<P4~6>、「日本とそのまわり」<P16>、「日本列島-九州から北海道-」<P17>、「日本列島」<P25>、「日本の地形」<P67>、「明治初期に確立した領土」<P80>、「第二次世界大戦後の日本の領域」<P80></p>	<p>【写真】「島根県」の竹島に、『日本固有の領土ですが、韓国に不法に占拠され、日本は抗議を行っています。』という説明がある。<P25></p> <p>【地図】「日本の47都道府県」<P4~6>、「日本とそのまわり」<P15>、「日本列島-九州から北海道-」<P17>、「竹島」<P25>、「日本の地形」<P67>、「明治初期に確立した領土」<P80>、「第二次世界大戦後の日本の領域」<P80></p>	<p>【写真】「尖閣諸島」に『魚釣島(後ろに見える島)などからなる、日本固有の領土です。』という説明がある。<P19></p> <p>【地図】「日本の47都道府県」<P4~6>、「日本とそのまわり」<P15>、「南西諸島」<P19>、「日本の地形」<P67>、「明治初期に確立した領土」<P80>、「第二次世界大戦後の日本の領域」<P80></p>	<p>【写真】「西の端 ②与那国島」<P16>、「東の端 ③南鳥島」<P16>、「南の端 ④沖ノ鳥島」に『日本は、この島がしずまないようにする工事を行い、日本の国土面積(約38万km²)よりも広い約40万km²の排他的経済水域を確保しています。』という説明がある。<P16></p> <p>【地図】「日本の47都道府県」<P4~6>、「日本とそのまわり」<P15~16>、「南西諸島のおもな島」<P19>、「ユーラシア、北極」<P56>、「アジア」<P58>、「オセアニア」<P65>、「日本の地形」<P67>、「第二次世界大戦後の日本の領域」<P80>、「世界の国々」<P101></p>
帝国	<p>【写真】「北方領土」に『北方領土は日本固有の領土ですが、ロシアが不法に占拠しています。』という説明がある。<P32></p> <p>【地図】「北の端-択捉島-」に『1945年から国後島、色丹島、歯舞群島とともにロシア(当時はソビエト連邦)に占拠されたままで、自由に行き来できません。』という説明がある。<P32></p> <p>【地図】「広く見わたす地図北海道地方」<P29>、「日本の領土とそのまわり」<P32>、「北海道地方」<P77>、「択捉島」<P77>、「根釧台地」<P80>、「アジア」<P86>、「地形のようす」<P95>、「日本で起きたおもな自然災害」<P100>、「日本の領土のようす」<P110>、「日本の統計」<P112>、「都道府県の区分」<P129>、「世界の国々」<P131></p>	<p>【写真】「竹島」に『島根半島の沖に位置する日本固有の領土ですが、韓国が不法に占拠しています。』という説明がある。<P32></p> <p>【地図】「広く見わたす地図竹島」<P23>、「日本の領土とそのまわり」<P32>、「竹島」<P39>、「地形のようす」<P95>、「日本の領土のようす」<P110>、「日本の統計」<P112>、「都道府県の区分」<P128></p>	<p>【写真】「尖閣諸島」に『日本固有の領土です。一番奥に見えるのが諸島の中でも最も大きな魚釣島です。』という説明がある。<P32></p> <p>【地図】「広く見わたす地図南西諸島」<P21>、「日本の領土とそのまわり」<P31>、「南西諸島」<P33>、「地形のようす」<P95>、「日本の領土のようす」<P110>、「南西諸島」<P129></p>	<p>【写真】「西端-与那国島-」<P32>、「南端-沖ノ鳥島-」<P32>、「東端-南鳥島-」<P32></p> <p>【地図】「広く見わたす地図南西諸島」<P21>、「日本の領土とそのまわり」<P31~32>、「南西諸島」<P33>、「アジア-オセアニア」<P83>、「アジア」<P86>、「地形のようす」<P95>、「日本で起きたおもな自然災害」<P99>、「南西諸島」<P129>、「南鳥島」<P129>、「沖ノ鳥島」<P129>、「世界の国々」<P131></p>

「別紙2-3」 【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容】 (小学校 地図)

発行者	北朝鮮による拉致問題の扱い	防災や自然災害の扱い	オリンピック・パラリンピックの扱い	固定的な性別役割分担意識に関する記述等
東書	記載なし	<p>・「日本の自然災害」を紹介するとともに、「自然災害にそなえて」では、ハザードマップを紹介し、「自分の地域のハザードマップを見て、①どこで、どんな災害が起こりやすいか②ひなんする場所とそこまでの道のりを確認しておこう。」と示している。<p97～p99></p>	<p>・「日本のおもなできごと」で、年表にオリンピックが2度開催されたことを示している。<p79></p> <p>・「オリンピックとワールドカップ」では、これまでの夏季・冬季オリンピックの開催地とサッカーワールドカップの開催国を掲載している。<p85></p>	記載なし
帝国	記載なし	<p>・日本列島で起こった自然災害の事例を学ぶページを設けている。また、自然災害に備え、子供自らが身を守るために何ができるかを考える、「防災マップづくり」を紹介している。<p99～102></p>	<p>・「世界のSDGs」では、「パラスポーツのさかなな国」としてドイツを掲載している。<p90></p> <p>・「日本のおもなできごと」で、年表にオリンピックが2度開催されたことを示している。<p109></p>	記載なし

【別紙3】(2)構成上の工夫【小学校 地図】

	ア 地図帳の活用について	イ ユニバーサルデザインの視点	ウ デジタルコンテンツの扱い
<p>東書</p>	<p>・地図の仕組みと約束事が分かるように、地上から見たまわりの様子、ななめ上から見たまわりの様子、真上から見たまわりの様子、真上から見たまわりの地図をつくるなど、視点の変換を展開している。(p7～8)</p> <p>・索引の引き方を、漫画を使って説明している。(P13)</p> <p>・地図を読み取る視点や活用の仕方について、キャラクターを用いて示している。</p> <p>・地球儀の活用の仕方について、写真を用いて解説している。(P53～54)</p> <p>・自然災害や防災についての情報をまとめた地図を掲載している。(P97～99)</p> <p>・冒頭にイラストを示した世界地図、日本地図を掲載し、地図の世界への導入としている。</p> <p>・「世界全図と地球儀」のページで、大陸と州、海洋名の英語を記載している。(P53～54)</p> <p>・世界地図では、全ての国名の英語を記載している。</p> <p>・日本の歴史を学びながら、同じ時代の世界の様子が捉えられる歴史地図を掲載している。(P77～80)</p> <p>・世界のみんなに「ありがとう！」では、民族衣装を着た子供のイラストとともに、世界15ヶ国の言葉のありがとうを掲載している。(P2～3)</p>	<p>・見やすく読みましがえにくいユニバーサルデザインのフォントを採用している。</p> <p>・全ての児童の色覚特性に適應するようにデザインしている。</p>	<p>「デジタルコンテンツ」では、学びを広げるさまざまなコンテンツを活用することができることを伝え、「コンピューターは、いろいろな場面で使うことができます。使い方や、気をつけることをたしかめて、学習に生かしていきましょう。」と促している。(p6)</p> <p>・「ホップステップマップでジャンプ」の解答などが二次元コードから読み取ることができる。(p4～p100)</p>
<p>帝国</p>	<p>・「地図とは何か」について、まず学校のまわりのように、ななめ上から見た学校のまわりのように、真上から見た学校のまわりのように、地図で表したまわりのようすへという視点の違いを踏まえて解説している。(P7～10)</p> <p>・「地図とは何か」について、実際のまち(大阪府堺市)の真上からの写真と平面の地図を比べている。(P9～10)</p> <p>・「3年生の学習」として、「地図のやくそく(方位)(地図記号)(きよりの求め方)」について扱っている。(P7～20)</p> <p>・地図を読み取る視点や学習課題について、キャラクターを用いて示している。</p> <p>・「広く見わたす地図」として、160万分の1の日本地図を使用している。(p21～30)</p> <p>・地球儀の活用の仕方について、写真を用いて解説している。(P81～82)</p> <p>・災害への備えや防災について、具体的に示した地図等を掲載している。(P60、99～102)</p> <p>・世界の地図ページでは主要な国名や首都名に英語を記載したり、「外国から日本へ伝わったさまざまな言葉」を示したりしている。</p> <p>・世界全図に11ヶ国語の挨拶を紹介したり(P1～3)、「集まれ！世界の子どもたち」では、紹介されている国の国旗や言語等が示されたりしている。(P84など)</p> <p>・「江戸時代の結びつき(p55～56)」「江戸(江戸時代後期)」(p69～70)、「日本の歴史」(P109～110)を掲載し、歴史的事象を地理的な空間の広がりとともに学べるようにしている。</p> <p>・「地図マスターへの道」を掲載し、地図の活用の練習ができるようにしている。(P22など)</p>	<p>・全ての児童の色覚特性に配慮した色づかいとなるよう工夫している。</p> <p>・ユニバーサルデザインフォントを採用している。</p>	<p>「英語とポルトガル語の世界地図」、「日本の四季の動画」など、インターネットを活用して学習ができるページには、二次元コードが掲載されている。</p> <p>・タブレットやパソコンで二次元コードの利用を促している。(p4)</p> <p>・ページの内容に合った補足データを二次元コードから読み取ることができる。(p1～p130)</p>